

e-ビーフNEWS 北の牧場から

January 2016

十勝の正月

穏やかな正月でした。朝はマイナス10℃、日中でも0℃を超さない真冬日で、ちょっと寒いですが、雪も降らず吹雪かず…でした。これでも例年より暖かく、内地が異常に暖かいのが分かります。北海道の年越しで一風変わっているのが、大晦日におせち料理を食べること。翌日は初詣に行き、帰ってきたらまたお酒が待っている。皆さんも同じと思われるが、2kgは太ります。この要領は、牛の増体に反映させたいですね。

この寒さを利用して、各小学校ではスケートリンクづくりが始まります。降った雪を積み重ねてリンクの形を作り、寒くなる夜中に消火栓からや散水車で撒いてゆきます。その水は、撒いてゆく先から凍りつきキラキラ輝いて見えます。この作業をするのは、先生やPTAの役員。今となっては思い出ですね。今でもやられている事に感謝。そこで育ったのは世界的スケート選手の清水や島崎でした。

やっと冬至もクリアし、関門を越えましたが、寒さはこれから本番。相変わらずのツルツル路面、今年も注意肝心でゆきましょう。



活動のお知らせ

第2回肉牛飼養技術研修会を開催いたします。ぜひご参集ください。

日時:1月29日(金) 午後2時から 1泊2日 参加費:3,500円 場所:新得町 北海道畜産試験場内研修施設
プログラム(14:00~16:30)

- (1) 北海道アンガス牛振興協議会飼養実態調査結果について
- (2) とうもろこしサイレージ給与による肥育(仮題)
- (3) シンポジウムの総括および当会の次年度に向けた事業計画検討会

NEWSばか読み

- 政府 TPP大綱決定 攻めの農業に転換 11/26:旗ふれど踊らず
- 住友化学 飼料原料「メチオニン」増産 成長分野として位置付け 11/27:
- 農業就業人口5年で2割減少209万人 高齢者離農増加 11/28:来年から就農するぞ
- 肥料偽装の大平物産が破綻 11/28:どこまで続く偽装破たん偽装破たん
- クボタ 大規模農家支援 総合サービス整備 11/28:勝ち組応援
- 中国高齢化が商機 巨大市場におむつ・介護企業進出 11/30:爆買いか
- 根釧地区 地元木材を使用した牛舎増加傾向 12/1:牛もホッとす
- 日欧EPA 畜産物関税で隔たり 12/1:TPPの影響
- COP21開幕 世界が温暖化防止で結束 12/1:ツバルが沈む前にすくい上げて
- 根釧中標津 TMRセンター育成預託施設併設 12/1:TMRの総合化が進行
- 水木しげる 亡くなる 12/1:ゲゲ出てきそう
- JA中春別 乳牛疾病に基金創設 12/2:酪農事情疾病が深刻
- 北京2.5今冬最大の警戒 12/2:もらい火いらんぞ
- ヤンマー 大規模農家向け無人トラクター開発 12/2:進むロボット化
- 家畜市場11月取引結果 和牛70万円台2年前の5割増 12/3:天井あるのか
- JA計根別 イヤーコーン生産し給与試験開始 12/4:可能性に期待

- 農研機構(畜草研) 西日本向け暑さに強く多収米を開発 12/4:目指せ反1t
- 農林水産省 ブラジル向け牛肉輸出可能に 南米初 12/5:経済が大変
- 世界の工場中国に陰り 労働コスト日本超す 12/6:製造業回帰現象起こる
- ぐるなび 今年の一皿に「おにぎらず」 12/8:ライスバーガー?
- コープさっぽろ 累積赤字解消に着手 12/8:えっまだあったの
- 原油安止まらず 新興国の経済減速追い打ち 12/9:
- 畜産公社北見 ハラルに対応 12/9:神に感謝
- あかつき 金星の軌道投入に成功 12/10:
- 十勝ガールズ農場開設 12/11:視点が変わるかも
- 軽減税率 全食品で自公合意 12/12:出来レースのようなストーリー
- 農林水産省試算 16年目に牛肉230円下がる 12/18:根拠不透明
- クボタ 各地に農業生産法人設立 輸出用コメ生産 12/21:戦略早し
- クリスマス需要でロースト用牛肉ブロック伸びる 12/22:肉の味が反映する
- 農林水産省 地理的表示で神戸ビーフ等7種認定 12/23:
- 農林水産省 捕獲したイノシシの飼料化検討 12/23:豚にはまzukないの
- 根釧振興局 酪農体験ツアーを積極企画 12/24:どんどんやろうよ
- 政府 TPP影響資産公開 牛肉突出600億円 12/25:意図は
- 政府来年度予算96兆円閣議決定 12/25:膨らむ予算誰か止めて

東京直近NEWS (12/29 Shi-REPORT)

ホルス 相場は先月よりもさらに上げ、@1150に張り付き状況。販売状況は12月に入り、11月以上に苦戦強いられる勢いも、年末のラストになり失速した。学校給食需要の低迷、枝肉相場の高騰から切落し含めた全てのアイテムの値上げも末端価格に合わず、販売使用量の低下を生んだ。大手もその環境にさらされ、産地での仕入ベースは緩く増頭仕入を慣行するも部分肉は単価も低調状況から、余剰アイテムの情報多数。鍋需要への期待感も気温が下がらきらず、思惑ほど需要が伸びきらず、クラシタでも12月後半に失速する。産地側が価格上げすぎた影響か。唯一、ロイン関係特にヒレは全品種に言えるが好調であり、クリスマスまでの引合いは得に強かった。バラ系はチルドの引合い問合せは皆無の状況も、加工筋から冷凍規格での問合せは上々も、価格帯で交渉が難航。とにかく、枝肉価格が高すぎるために交雑へのシフトも末端で発生し、国産牛ホルスとしての値ごろ感が見出せないまま、年始を迎える環境。各メーカーは、余剰部位の数量も多く凍結在庫にまわしている噂もあり、年始以降、販売の大きな回復は見込めない予

測。2016年は素牛価格が高騰導入したものが、出荷時期に入り生産者も相場に注目している環境が続く。

経産牛 12月枝肉相場は依然高値傾向も、年末にかけ下げ相場に転じる。年末は上物にシフトするため、例年通りの動き。販売は、国産牛の使用用途から大きな需要の変化は無く、淡々と荷動きと、言いながら年末時期ということから多少は需要減。挽き材について、12月最終週までは通常週と大きく変化無く一定の販売を継続している。但し、一部ではホルスの荷余りから余剰アイテム投げもの発生しており、挽材の代替えとして、価格対応で流用され始める。さらに12月決算メーカーは少なからず、多少の在庫放出も聞き及び更なる価格勝負の一面も情報あり。慢性的に頭数は少ない点から、パーツのよって堅調の動きをしている。一番危惧する点は、ホルスの正肉荷余り多いため価格対応での代替え供給によって、経産牛の販売価格・荷動きに影響出ることか。

左先生の畜産学Research NEWS

今年も皆様にとってよい年でありますようにお祈りいたします。e-びーふNewsは今年で3巡目になります。より一層up to dateな肉牛飼養関連の内容解説に努めたいと思います。このNewsがupされる頃は2016年ですが内容は2015年のものですので了解下さい。報道の話題はTPPの日本への経済効果です。TPPは言うまでもなく環太平洋経済連携協定の略で農産物の関税撤廃が全てではなく米国流の多様な経済活動の連携でその影響は広汎です。農業生産者が心配するTPPの影響評価や対策も来夏の参院選を見越した手厚いという国内対策の金銭的補償ではなく、日本食材としての安全性確保や国民の将来を見据えた対応がなければ強く輸出に打って出る日本農業への転換は望めません。e-びーふNews25号の学術情報は下記の通りです。その他に入手された情報は時系列にはなりません紙面の都合で年度内の次回以降にします。

1. 2015.9.12 北海道畜産草地学会第4回大会講演要旨(江別市 酪農学園大学)

I-4 画像解析形質および脂肪酸組成を用いた牛枝肉格付の肉質等級における格落ち要因の調査(山中惇平他; 帯畜大) BMS#3-9の黒毛和種牛胸最長筋の画像解析形質や脂肪酸組成を調査して、BMS等級より低い格落ち個体は脂肪の輝度が低く、オレイン酸含量が高く、格落ちの原因は締まりに関連する形質の違いと思われる。

I-7 黒毛和種子牛の粗飼料多給型育成が枝肉成績に及ぼす影響(高橋雄一他; 帯畜大) 黒毛和種牛で粗飼料多給型育成マニュアルを利用した枝肉格付6形質を濃厚飼料給与の慣行型のそれと比較し、マニュアル利用育成牛の枝肉重、胸最長筋断面面積およびBMS#は育成期の増体基準や市場出荷日齢に関わらずいずれも慣行育成牛より有意に良い成績が示された。

I-8 さまざまな品種における牛胸最長筋とその周囲筋の関連性(大谷充人他; 帯畜大) 牛枝肉の肉質等級を支配する第6-7肋骨断面の胸最長筋、頭半棘筋、背半棘筋および僧帽筋、広背筋の筋肉面積と脂肪面積割合を黒毛和種、ホルスタイン種、その交雑種、日本短角種および褐毛和種で品種間比較した。胸最長筋の筋肉面積は他の4筋肉との間に $r=0.19-0.62$ 、その脂肪面積比は全品種とも背半棘筋のそれと $0.59-0.74$ の相関がみられた。

2. 2015.9.13 北海道畜産草地学会ワークショップ「北海道産赤身牛肉の魅力」-つくる人、たべる人、とどける人-オーガナイザー:西邑隆徳,小林国治(北大院農) pwp資料から,

1) つくる人: 小笠原英毅(北里大・FSC八雲牧場)北海道における赤身牛肉生産-放牧と自給飼料のみで生産する北里八雲牛- 外部導入穀物以外の草資源のみの肉用牛としての北里八雲牛生産の紹介。日本短角種とサレール種(フランス原産兼用牛)の交雑種を放牧と自給粗飼料で35ヶ月齢出荷、1ha/1頭260kgの牛肉生産、皮下脂肪薄く赤身肉生産。

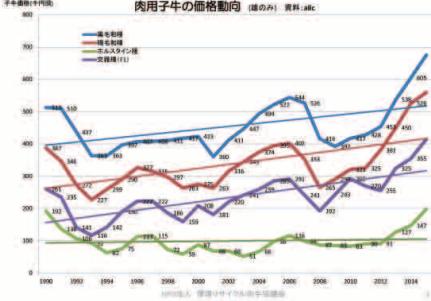
2) たべる人: 小山里美(一般社団 札幌消費者協会)私たちが求める赤身牛肉とは 牛肉消費に関するアンケート調査結果の解説。(牛肉の好み)霜降り、赤身、どちらも;赤ワインとの相性、価格/(産地)道産、国産、輸入;安全・安心/(好み)牛肉、豚肉、鶏肉;旨さ、飽きない/(購入)豚肉、鶏肉、牛肉;調理法の広さ。

3) とどける人: 戸塚秀樹(ホクレン畜産販売部ビーフ課)ユーザーニーズに対応した牛肉(赤身肉)の販売について 消費者ニーズの多様化とドライエージング製法による赤身肉の関心が高い。今後の牛肉流通では為替環境と世界的牛肉需要の上昇で飽和から品不足、蒙州とのEPAやTPPIによる関税引き下げの国内市場への影響は極めて小さい。

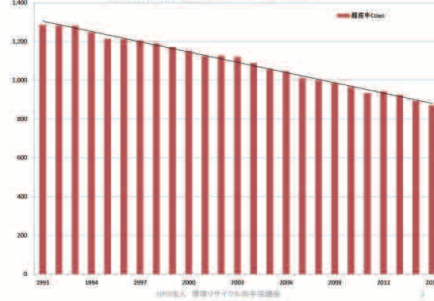
道総研 畜産試験場NEWS

「TPP妥結前夜 北海道肉牛の残された道～近況マーケット分析からシミュレーション」③

生産から一素牛価格の推移



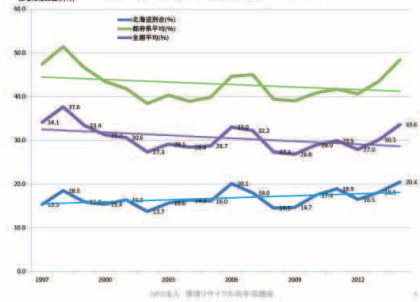
乳牛飼養頭数動向



生乳生産量の推移



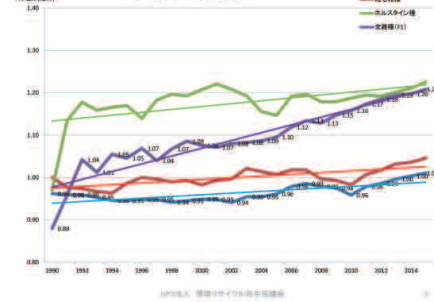
乳牛の黒毛和種の交配状況推移



肉用子牛の取扱頭数

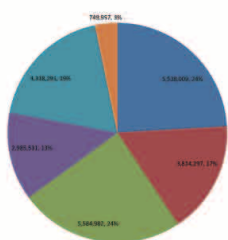


市場素牛の増体傾向

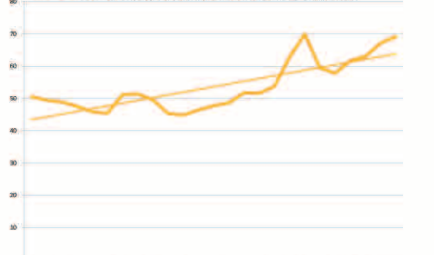


生産から一飼料

配合飼料の供給量2014年度 資料: 農林水産省



配合飼料(肉用牛)の価格動向



輸入飼料原料価格の推移

